

さわやかな風にのって、石神の丘にはカッコウの声が響いています。屋外展示場では、友の会と協力しながら育てている〈ヒメサユリ〉が咲



石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2008.6.1 Vol.68

き始めました。ユリの中では小ぶり、薄ピンク色が美しい〈ヒメサユリ〉は、別名を〈オトメユリ〉とも言い、福島県・新潟県・山形県境に自生する植物です。美術館では屋外展示場にヒメサユリの群落をつくろうとリニューアルオープン以来、毎年少しずつ球根を植えてきました。

可憐な花といえば、当館の名物となっているラベンダーもまもなくシーズン。6月上旬から花芽がはじめ、中旬から徐々に色づき下旬から7月上旬が見ごろとなる予定です。今年も、町内有志の方々に協力いただき、ラベンダー園前でお抹茶やお煎茶をいただく「野点(のだて)の会」や、「ラベンダースティック」の講習会などを開催します。ラベンダーの香りに包まれて、リラックス・リフレッシュしてみませんか。

企画展示室では、盛岡市在住の9歳の少年・高橋卓也くんの書を紹介する展覧会が開催されます。テレビなどでご存知の方も多いと思いますが、岩手県での個展は今回が初めて。ぜひ、この機会にご覧ください。1993年7月に開館した当館は、今年で開館15周年を迎えます。このことを記念して、高橋卓也展は特別料金でご覧いただけます。【企画展示室と屋外展示場(ラベンダー園含む) 観覧：一般100円/大・高生50円/中学生以下無料】

9歳の書家 高橋 卓也展

会 期：2008年6月21日(土)～7月21日(月・祝) ※会期中無休
開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【開館 15周年特別入館料金】

一般 100円/大・高生 50円/中学生以下無料(屋外観覧料を含みます)

アートサイト

ルソーと松本竣介

最近、気になっていることがある。それはアンリ・ルソーと日本の関係である。ルソーに『風景の中の自画像(私自身、肖像)』と題する、街を背にパレットを持って立っている作品がある。

その作品の左上方に描かれている雲の形が妙に気になるのだ。「誤った深読み」なのかも知れないが、江戸時代以前の、まだ日本の形がはっきり分かっていないころの地図を参考にして表現されたものではないかということだ。

何を根拠にと問われると困るのだが、古い日本地図に、ルソーの『風景の中の自画像』に描

きこまれた雲とよく似た地図があったように記憶しているからだ。

この作品については、左上部分に描かれる上空の太陽の表現に、歌川広重による版画集『江戸の名所絵図』の影響も指摘されている。作品の下部には一八八九年に開催されたパリ万国博の情景が描かれ、日本の国旗もみられる。

ルソーは万国博を見て日本に関心を持ったとみられるが、その関心の度合いは、太陽と一体になった雲が日本の比喩として描かれたものかどうかによって、若干の違いが出てくるだろう。

この作品はルソーが生涯、手離さず、死の間際まで加筆し続けた作品として知られる。私は、雲の表現の意味合いとともに

に、松本竣介の街を背景にして立つ自画像との構図の類似も気になる。竣介がルソーの影響を受けたかどうかは知らないが、例え受けたにしても作品自体は、全く竣介のオリジナル以外の何物でもない。

受ける印象が全く違うのである。ルソーの雲といい、あるいは萬鉄五郎の雲など、最近、画家たちの雲の表現が気になって仕方がない。画面の構成上の問題ではなく、何かの象徴として、あるいは比喩として重要な役割が与えられているのではないかと考えるからだ。萬鉄五郎の『雲のある自画像』は頭のすぐ上に雲が描かれているが、あれは想念とか、魂の比喩としての表現ではないかと私は考えている。

(芸術監督・六岡 康光)



石神の丘に ラベンダーが咲く 季節です

Ishigami-no-oka lavender fair 2008

石神の丘美術館・屋外
展示場には、約 4000 m²
の斜面におよそ 2 万株
のラベンダーが咲く「ラ
ベンダー園」があります。
品種は主に花色の濃い
『バイオレットメモリー』
で 6 月下旬から 7 月上
旬に見ごろを迎えます。

今年もいよいよ、ラベンダーの開花時期が近づいてきました。鮮やかな色とすがすがしい香りを楽しみながらの屋外散策は格別です。シーズン中の土日には、「ラベンダーフェア」が行われ、野点や創作教室などのイベントも開催されます。開花は6月下旬から7月上旬頃と予想していますが、天候や気温によって左右されることがあります。館内の情報掲示板やホームページ・ブログで開花の状況をお知らせしますので、お出かけの参考にしてくださいね。

アドレスはこちら <http://museum@ishigami-iwate.jp>

★ラベンダーフェア★

6月28日(土)、29日(日)
7月5日(土)、6日(日)

☆ラベンダーを使った創作教室

(日曜日のみ/10時～12時)

☆野点(のたて)の会

(抹茶または煎茶/10時～15時)

☆ラベンダーグッズの販売

☆ラベンダーの摘み取り体験

☆ラベンダー苗の販売(道の駅)

9歳の書家 高橋 卓也展

6月21日(土)～7月21日(月・祝)



《門》—頑丈な門—
2004年(5歳)

書を得意とする盛岡市在住の小学生・高橋卓也くんは、2歳頃から筆をおもちゃ代わりに文字を書き始め、3歳の時の作品《風》がモントリオール国際芸術祭書道部門でグランプリを獲得しました。その後も作品集の出版、国立新美術館オープニング展への出品、地酒ラベル・本の題字・テレビ番組のロゴデザインなど、9歳にして幅広く活躍しています。地元岩手県では初めての開催となる今回の個展では、およそ40点の作品を展示・紹介します。

【開館15周年特別料金】一般100円/大・高生50円/中学生以下無料(屋外観覧料含む)

美術館隣接 道の駅/レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」TEL0195-61-1600まで

みなさん、こんにちは！
たまなぼうやとブルベリーナです



手づくり人形風
ストラップ
(写真手前) 380円

ビーズ付
ストラップ
(写真奥) 360円

石神の丘では、岩手町の特産品をモデルにした、オリジナルキャラクターの携帯ストラップを販売しています。

《たまなぼうや》(写真左)はキャベツ「春みどり」がモデル。「たまな(玉菜)」とはキャベツの別名です。《ブルベリーナ》(写真右)はもちろん「ブルーベリー」がモデル。どちらも岩手町の特産品ですよ。お土産にいかが？

レストラン・石神の丘は
座席数を増やし
リニューアルオープンします



レストラン・石神の丘では、座席数を増やし厨房を広くするための増改築工事を行っています。この工事にとまない下記の期間、レストランは休業となりますのでご注意ください。

工事にもなう休業日
6月29日(日)～7月中旬

※工事の進み具合で前後する場合があります

平成20年度 工房体験講座

ドライフラワー教室

第1回「うばゆりのアレンジメント」
(三角ベース)

日時:6月15日(日) 10:00～12:00

場所:石神の丘美術館 工房棟

材料代:1,500円

定員:15名(予約優先・先着順)

指導:花ちゃ花ちゃ工房

(町内ドライフラワーサークル)

申し込み・問い合わせ:

石神の丘美術館

TEL/(0195)62-1453



「恋人の聖地」に認定されました

《認定日 2008年4月1日》

「恋人の聖地」とは NPO 法人地域活性化支援センター(静岡市)が地域活性・少子化対策プロジェクトとして実施しているもので、現在、箱根・彫刻の森美術館(神奈川)、六本木ヒルズ展望台(東京)など全国で61箇所が認定されています。岩手県では初めて石神の丘美術館が認定されました。

現在、ホールで銘板を紹介しており、今後、銘板を屋外展示場に設置するとともに、隣接する道の駅との連携を図り、恋人たちを応援する企画を実施していく予定です。

